

自然災害発生時における業務継続計画

法人名	特定非営利活動法人 地域生活きたのセンター ぱお	種別	就労移行支援 就労継続支援 B 型 就労定着支援
代表者	荒野 耕司	管理者	原内 渉
所在地	札幌市清田区北野 5 条 3 丁目 4-14	電話番号	011-889-6560

2024 年 2 月 9 日作成

2024 年 2 月 9 日更新

目次

1. 総論	1
(1) 基本方針.....	1
(2) 推進体制.....	1
(3) リスクの把握.....	2
① ハザードマップなどの確認.....	2
② 被災想定.....	4
(4) 優先業務の選定.....	4
① 優先する事業.....	4
② 優先する業務.....	4
(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し.....	5
2. 平常時の対応	5
(1) 建物・設備の安全対策.....	5
(2) 電気が止まった場合の対策.....	5
(3) 水道が止まった場合の対策.....	5
① 飲料水.....	5
② 生活用水.....	5
(4) 通信が麻痺した場合の対策.....	5
(5) システムが停止した場合の対策.....	5
(6) 衛生面（トイレ等）の対策.....	5
(7) 必要品の備蓄.....	6
3. 緊急時の対応	7
(1) BCP発動基準.....	7
(2) 対応体制.....	7
(3) 対応拠点.....	7
(4) 安否確認.....	7
① 利用者の安否確認.....	7
② 職員の安否確認.....	8
(5) 職員の参集基準.....	8
(6) 施設内外での避難場所・避難方法.....	9
(7) 重要業務の継続.....	9
① 破損個所の確認.....	9
② 業者連絡先一覧の整備.....	9
(8) 復旧対応.....	9
4. 他施設との連携	9
連携体制の構築.....	9
5. 通所サービス固有事項	9

1. 総論

(1) 基本方針

自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、社会に大きく影響を与える事態が多く起こる昨今、その様々な事象に対応し、被害を最小限にとどめて事業を継続していく為に、事業継続計画（以下、BCP）を策定するものである。

BCPはあらゆる災害に対しての防止策を計画する防災計画とはその意味合いが異なり、災害発生後、その影響及び被害を最小限にとどめながら法人としての事業をいかに早期復旧し継続していくかを策定していくものであり、その基本方針は以下のとおりである。

① 利用者・職員の安全を守る

命があつての介護サービス・障がい福祉サービスであり、災害時においても命にかかわる業務を最優先とする。

② 早期の事業再開を目指す

災害発生時において、早期の復旧を図る為、優先業務を実施する体制と対策を事前に定めて、事業の継続へ万全を期す。

(2) 推進体制

<平常時>

主な役割	部署・役職	氏名	補足
BCPの職員に対する意識づけの指導及び総括	代表	荒野 耕司	
責任者の補佐、教育訓練等の責任者	所長	原内 渉	
年1回の避難訓練時におけるBCP教育の実施責任者	防火管理者	河原 正品	

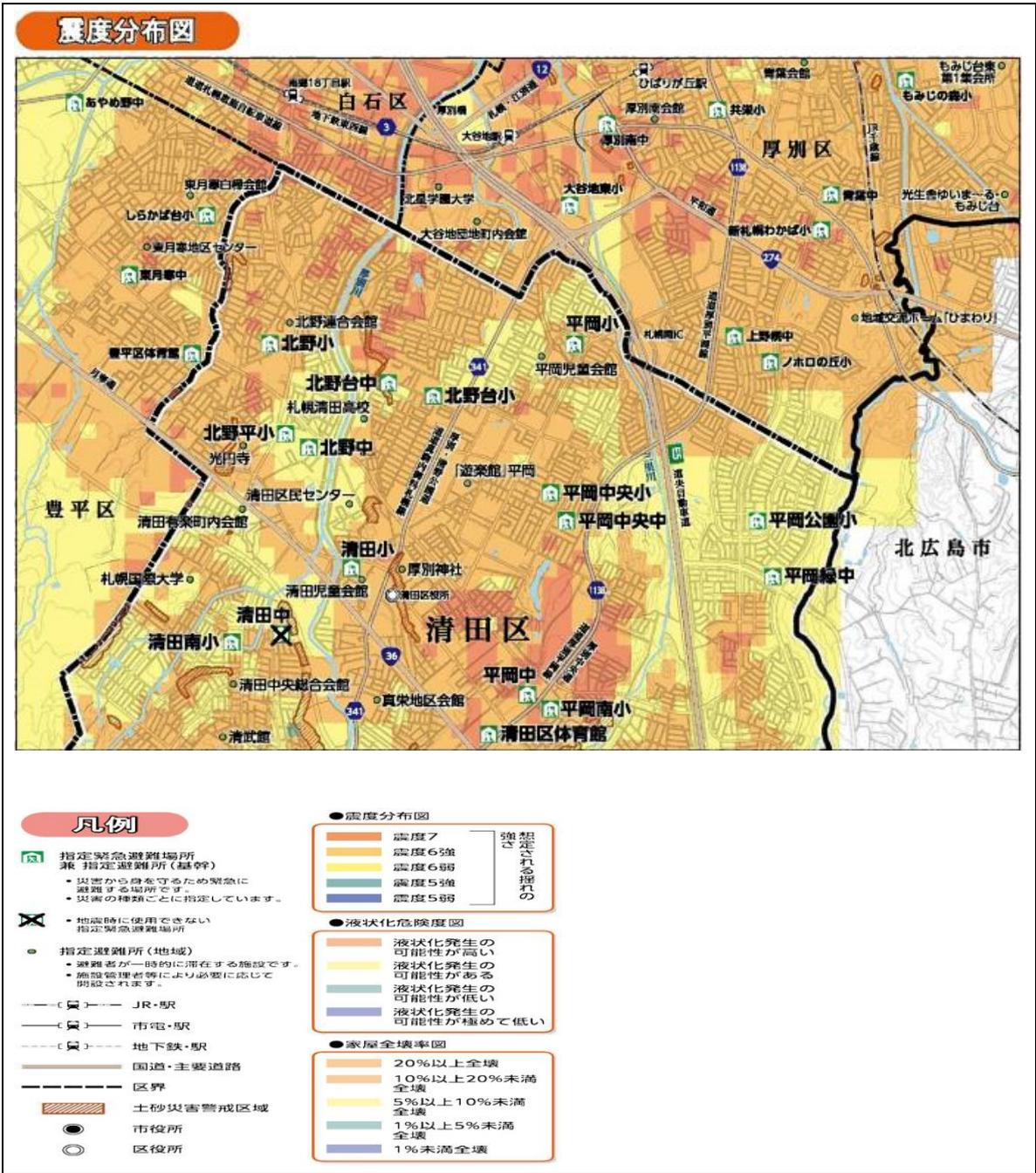
<緊急時>

主な役割	部署・役職	氏名	補足
BCP発動の判断、事業継続の方針決定、災害対策本部指揮権者	代表	荒野 耕司	災害対策本部長
本部長のフォロー、各拠点への指示、本部長代行 関係機関との連携調整責任者	所長	原内 渉	災害対策副本部長
拠点及び関係機関との連絡調整、災害情報の収集、拠点間の人員調整	防火管理者	河原 正品	対策本部総務班
資金、物品の調整及び管理、支給情報などの収集	事務	上原 結花	対策本部管理班

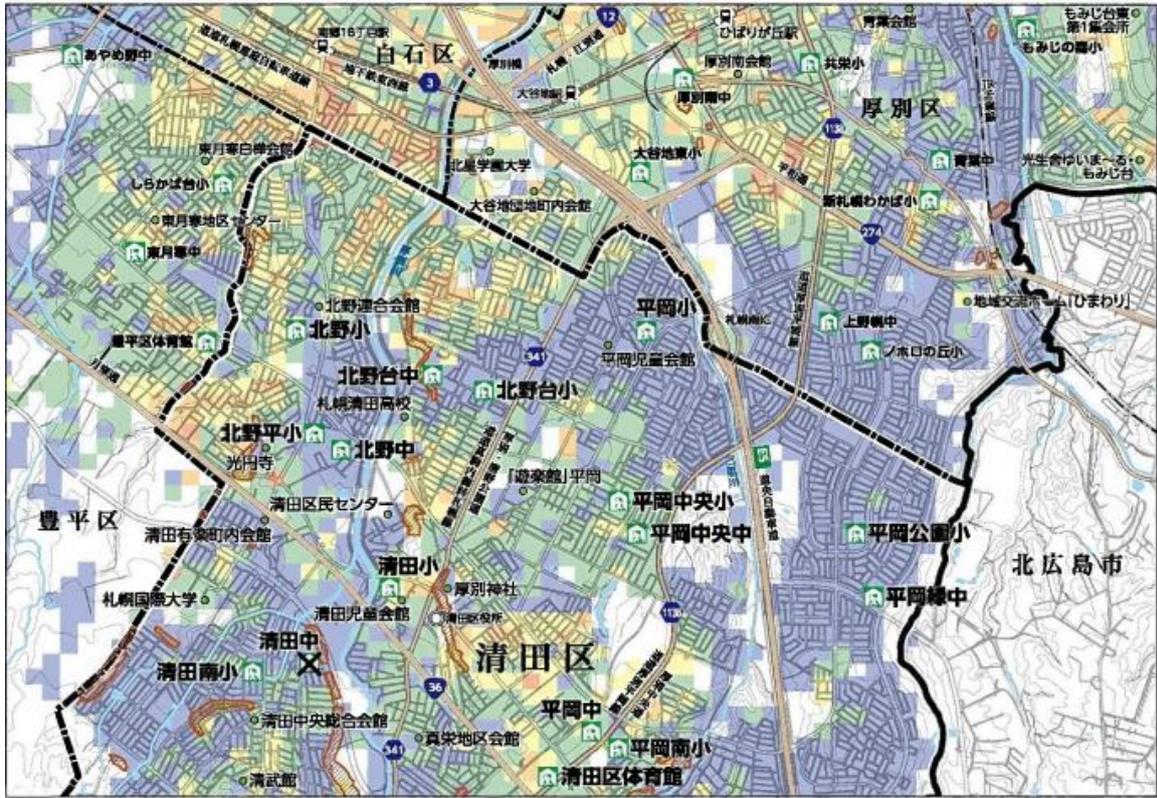
<p>施設における利用者及び職員 の安否確認、建物の安全確認、 サービス提供に係る担当者を 決定し、業務を指示、本部へ の近況報告（判断に急を要す る事項については即断する権 利を有する）</p>	<p>サービス 管理責任者</p>	<p>山崎 仁友</p>	<p>拠点リーダー</p>
--	-----------------------	--------------	---------------

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認



家屋全壊率図



液状化危険度図



② 被災想定

【自治体公表の被災想定】

<p><u>交通被害</u></p> <p>道路：信号の停電、液状化、破断</p> <p>公共交通機関：運行の停止</p> <p><u>ライフライン</u></p> <p>水道：断水</p> <p>電気：停電</p> <p>ガス：停止</p> <p>通信：停止</p>
--

【自施設で想定される影響】

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力			復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
生活用水	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
ガス	復旧	→	→	→	→	→	→	→	→
携帯電話			復旧	→	→	→	→	→	→
メール			復旧	→	→	→	→	→	→

(4) 優先業務の選定

① 優先する事業

<p><優先する事業></p> <p>(1) 作業所</p> <p>(2) soya</p> <p><当座停止する事業></p> <p>(1) 法人本部</p> <p>(2) 就労定着支援</p>
--

② 優先する業務

優先業務	必要な職員数			
	朝	昼	夕	夜間
避難誘導	2 人	2 人	人	人
調理	1 人	1 人	人	人
相談 (対面)	1 人	1 人	人	人
相談 (電話)	2 人	2 人	1 人	人

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

- | |
|---|
| ・年1回の研修実施…BCPについて、備蓄の確認、担当者の再確認
(研修内で検証や見直しも行っていく) |
|---|

2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

対象	対応策	備考
棚	つかえ棒による固定	つかえ棒の購入
ロッカー	つかえ棒による固定	つかえ棒の購入
PC(デスクトップ)	床に固定	
冷蔵庫	つかえ棒による固定	つかえ棒の購入
窓	落下防止フィルムによる保護	フィルムの購入

(2) 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
暖房	ポータブルストーブ (未購入)

(3) 水道が止まった場合の対策

① 飲料水

- | |
|-----------------------------|
| ・ペットボトルの備蓄
→2ℓペットボトル 10本 |
|-----------------------------|

② 生活用水

- | |
|--|
| ・厚別川の水汲み (水害の恐れがないかどうかを確認してから)
→20ℓポリタンク 2本 |
|--|

(4) 通信が麻痺した場合の対策

- | |
|--|
| ・職場携帯電話 11台 (自宅に持ち帰る必要性あり)
・通勤距離 2km以上の方は出勤停止 |
|--|

(5) システムが停止した場合の対策

- | |
|------------------------------|
| ・事務PCのバックアップ (外付けハードディスクに記録) |
|------------------------------|

(6) 衛生面 (トイレ等) の対策

【利用者】

- | |
|---------------|
| ・ポータブルトイレ 10個 |
|---------------|

【職員】

・ポータブルトイレ 5 個

(7) 必要品の備蓄**【飲料・食品】**

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
水	10 本		コンテナ	河原 正晶
乾パン	30 缶		コンテナ	河原 正晶
粉末飲料	5 袋		コンテナ	河原 正晶

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
富士薬品	1 月分		3 階	富士薬品

【備品】

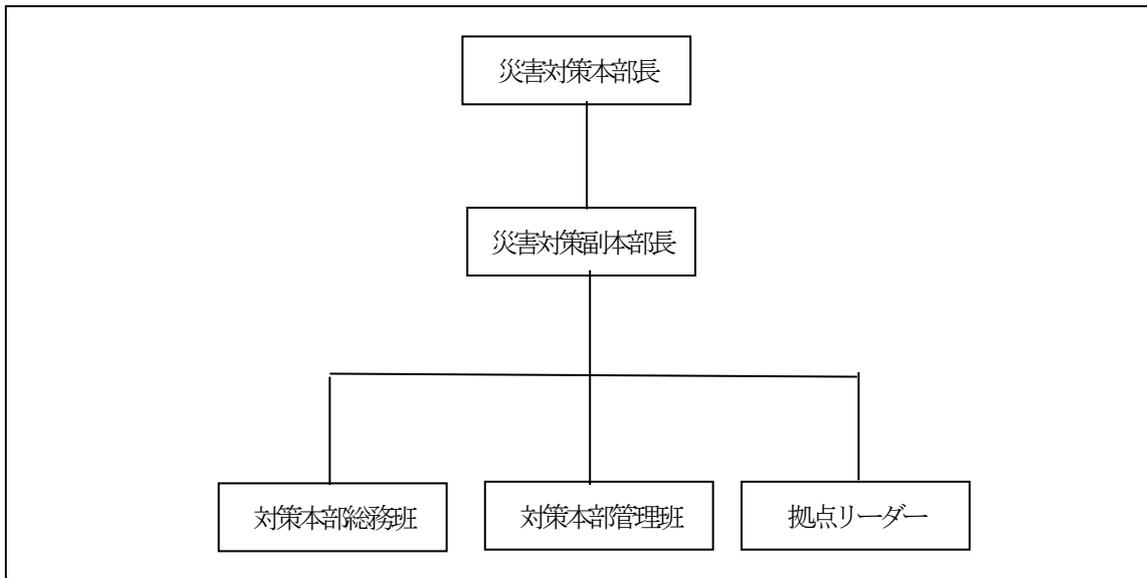
品名	数量	保管場所	メンテナンス担当
ポータブルトイレ	15 個	コンテナ	
ポリバケツ	10 個	202 号室トイレ前	
ポータブルストーブ	未購入		

3. 緊急時の対応**(1) BCP 発動基準**

【地震による発動基準】 ・清田区の停電 ・清田区の液状化（道路の破断） ・公共交通機関の停止 ※震度やマグニチュードの大きさに関わらず
--

管理者	代替者①	代替者②
原内 渉	河原 正晶	なし

(2) 対応体制



(3) 対応拠点

第1 候補場所	第2 候補場所	第3 候補場所
作業所きたの	地域活動センター 栄通プラザ	なし

(4) 安否確認

① 利用者の安否確認

- 【安否確認ルール】
 - ・携帯電話での連絡（職場携帯または個人携帯）
 - ・来所された方への直接的な聞き取り
- 【医療機関への搬送方法】
 - ・社用車での搬送

② 職員の安否確認

- 【施設内】
 - ・直接顔を合わせる
 - ・他の部署とは電話または直接会って連絡を取り合う
- 【自宅等】
 - ・携帯電話で状況を伝える
 - ・出られない場合はその場で待機

(5) 職員の参集基準

① 通勤距離 2 km圏内の者のみ出勤 →2 km以上の方はこの時点では待機
② 電話連絡に応じられた者の出勤 →出勤可能な者のみ

(6) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設外】

	第1 避難場所	第2 避難場所
避難場所	北野西公園	北野小学校
避難方法	徒歩	徒歩

(7) 重要業務の継続

① 安否確認 →携帯電話や顔を合わせての確認
② 設備の確認 →電気や水道等の確認
③ 事業の再開 →利用者の通所確認

(8) 復旧対応

- ① 破損個所の確認 建物・設備の被害点検シート
- ② 業者連絡先一覧の整備

業者名	連絡先	業務内容
北日本石油 札幌支店	011-723-6411	ガソリン補給
北日本燃料 札幌営業所	011-881-8091	灯油、ガス復旧
林自動車札幌	011-881-6116	自動車修理、整備

4. 他施設との連携

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
ほし内科消化器科クリニック	011-881-5551	かかりつけ医

5 通所サービス固有事項

【平時からの対応】

- ・避難訓練

【災害が予想される場合の対応】

- ・通所停止
- ・送迎対応（緊急時）

【災害発生時の対応】

- ・電話連絡
- ・来所者対応